

第30回 DAAS運営委員会 議事要旨(案)

1. 日 時：2015年8月5日(水) 午後2時00分～午後3時30分

場 所：公財) 建築技術教育普及センター内第6会議室

東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル3階

2. 出席者(敬称略 順不同)

運営委員長：三塩(日本設計)

委 員：末富委員(住団連)、竺委員(建築学会)、青木委員(BCJ)、早川委員・
鈴木委員(士会連合会)、今倉委員(日建連)、早川委員代理 安生氏(日建設計)、
本多委員(山下設計)

事 務 局：武藤

3. 配布資料：

資料1：WG成果報告 議事録

資料2：第1回DAAS企画運営部会 議事要旨

資料3：第9期収支計算書(案) (2015年8月4日現在)

第29回DAAS運営委員会議事要旨

4. 議事：

■報告事項

[議案1] 2014年度のコンテンツ制作成果報告

2014年のコンテンツ作成支援金による成果品について事務局より口頭説明を行った。

2014年のコンテンツ成果は主に以下4点

- ・ 芦原太郎氏のインタビュービデオ(オーラルアーカイブ)故芦原義信氏の武蔵野美術大学でのアーカイブ整備や義信氏設計の建物の改修等について)
- ・ 卒業設計大賞の懇親会動画
- ・ 360度VR の池田武邦邸(解体)・銀座シネパトス(解体)

また、2013年度成果品の再編集動画についても紹介をした。

- ・ 首都大学東京の渡邊英徳氏
- ・ 東京芸術大学の北郷悟氏
- ・ 建築学会の藤岡洋保氏
- ・ 鈴木博之氏

以上の成果品から、鈴木博之氏、芦原太郎氏のインタビュービデオの冒頭部分、及びVR画像の銀座シネパトス、池田武邦邸の動画及び画像の一部を投影。

池田武邦邸の公開については、個人宅の為公開範囲を施主に相談後公開予定であること、また、各インタビュービデオは総会でDVDとして会員に配布する予定であることを口頭にて説明した。

【以下、成果品についての質問、意見】

(竺委員)360度VR収録については建築の記録としては有用であるが、建築の総体を記録するときは、やはり内側(内観)と外側(外観)の総合的な収録、記録が必要である。

(事務局)今回、解体する直前の撮影となったため、外側の収録が不十分であるかもしれない。その部分は、図面、竣工時の写真、同時に収録していた3Dスキャンの資料などを補足資料として追加する必要があると思っている。

[議案2] 国土交通省へのWG成果報告について

資料1に基づき、運営基盤安定化WGの最終成果物として作成した「運営基盤の安定化方策検討 報告書」を国土交通省へ提出し、その際に行った意見交換の内容について、事務局より説明を行った。

【以下、報告についての補足説明、意見、等】

(竺委員:企画部会主査)国土交通省としては、DAASに対して補助金を用意することは検討しているが、運営については具体的な意見はなく、現在の運営体制を継続していくことのようなのである。企画運営部会では、収蔵ポリシー、整合性をもったコンテンツの企画・発信について、検討の予定である。また、コンテンツ制作における、DAASの会員メリットも明確にすることだと思っている。

(三塩委員長)近現代資料館では収蔵ポリシー決定の為の懇談会が設置されたとのこと。DAASも新建築の写真から始まったが、新しいコンテンツについて、あるポリシーをもって収蔵していく必要がある。また、インターネット上での情報発信(つかみ)の部分と資料の蓄積・データベース等のストックの部分と二つを保持しなければ、デジタルアーカイブの深みが発揮されないと感じる。国交省、原田氏もこのDAASの活動、存在に意義を感じて頂いており、今期も300万の支援金が確定している。建築団体の表彰作品を定期的に蓄積し、情報発信の為のコンテンツも平行して作成し、デジタルアーカイブのスタイルを作ることが描ければ、ぶれずに進めていけるのではないかと思っている。この概念も数年後、状況はまた変化する可能性もあるが、そのスピードにあわせて柔軟に対応していくことがむしろ好ましいのかもしれない。

[議案3] DAAS企画運営部会開催報告

資料2に基づき、第一回企画運営部会の開催報告を行った。

【以下、報告についての補足説明、意見、等】

(事務局)企画運営部会での検討事項となるが、DAASのwebサイトは「アーカイブ」の側面が大きく、蓄積をする機能はあるが、何が収蔵されているかがわかりづらい。どうみせるか、という視点が欠けている。Webサイト自体の改修は費用がかかるため、収蔵した資料を見せる「特集」やfacebookの利用による情報発信、等で閲覧数の拡大を目指したい。DAAS-Webサイト内では会員登録が必要であるが、youtubeでのダイジェスト版の掲載などの後facebookで発信し、実験的に閲覧数がどうなるかということを確認した。Twitterとも連動し、大学の先生がリツイートした事で、1週間で1,500人ほどのリーチがあった。(訂正:実際には1,400人弱)実際にDAASのページまでたどり着くというところではないが、人の目に触れるには有用なツールだと思われる。収蔵品を紹介するだけでも、費用をかけずに集客数を増やすという事ができる。ただし、飽きられてしまうとWebへの訪問は減るため、資料の蓄積、新しいコンテンツの蓄積は、ポリシーを決めて継続していくことが大事である。ただし、事務局の人数が足りないため有効な方法は検討したいと考えている。

(三塩委員長)JIAでもニュースをfacebookに掲載する事で、閲覧数が増える事を実感した。外部委託せず、そういったことが得意な人がやっている。即日、数十分後に掲載されているなど、学生に知ってもらうにはかなり有効である。ただ、よほど得意な人がいないと発信ができない。定期的なニュースは有効。外部委託はもちろん、少し費用の中からどの程度でできるか、企画部会で検討してもよいと思われる。DAASとして、各大学などのゆかりの場所がストックを保持して、ネットワークでつなぐという役割を果たすのが、一番望ましい立ち位置ではないか、とも考える。もしくは、プラットフォームをつくっておいて参加をしてもらうという立ち位置ではないか。それにしてもDAASという存在を知ってもらう必要はある。

(青木委員)日本建築センターの設立50年の記録史を作成していて、センターが技術評価等に関わった建物の写真をDAASで探してみた。建築基準法の旧38条認定の評定、現在の性能評価等を取り扱っているため、技術的には最先端の建築物、社会的に話題になったようなものに関わっているのだが、DAASの資料ではほとんど検索にかからなかった。ベーシックなところを押さえておくべきではないかという印象を強くした。現在どのようなコンテンツがあって、本来のアーカイブのあり方として押さえるべき所はどのようなところか、というところも部会での議論の時に検討事項としてもらえるとよいと感じている。ポリシーや先進技術活用等が話題になっている中で恐縮だが。

〔議案4〕 その他年度末、年度初めにむけた報告、等

議事次第に掲載した年度末、年度始めの予定を事務局より説明。また、総会については現在日程調整中であることを補足説明した。

また、資料3に基づき、第9期の収支について8月現在、執行予定の人件費半期分を含めて、単年度黒字の予定であることを説明した。次回、9月の運営委員会では、承認事項として、総会資料の事業計画、収支決算書等を作成し提出する予定。

委員会にて指摘があった、資料2 企画運営部会議事要旨についての補足、訂正については以下

2ページ目 10 行目:(文化庁の近現代建築資料館の懇談会主査)東京大学 先端科学技術研究センター 西村幸夫氏

2ページ目 22 行目誤植:「意見の意見を確認」を「意見を確認」に訂正

3ページ目 22 行目:「※特に谷口氏はオリンピック、金沢」「※特に谷口氏はホテルオークラ、金沢に」に訂正

10ページ目に追記:相田武文氏 80～90 年の新宿、池袋、原宿のデザインサーベイの資料を金沢工業大学で収蔵

次回第31回 運営委員会日程

2015年9月14日(月) 14:00～ (場所は調整中)

以上